

嬉野温泉駅周辺整備事業

審査基準

令和2年5月11日

佐賀県嬉野市

目 次

1	本書の位置づけ	1
2	審査の方法	1
	（1）事業者選定手順	1
	（2）選定委員会	2
3	資格要件審査	2
4	事業提案審査	2
	（1）形式審査	2
	（2）内容審査	2
5	事業者の決定	2

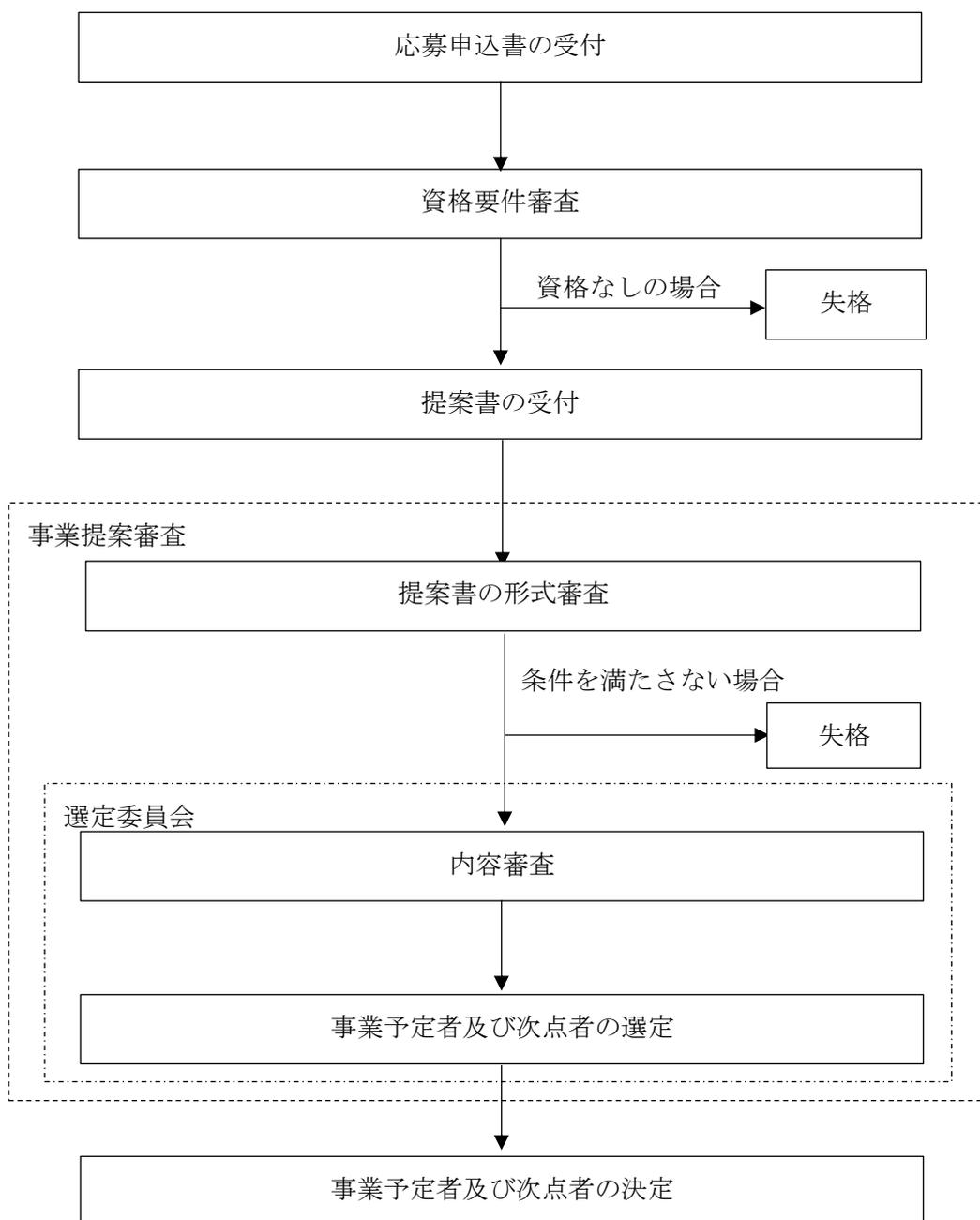
1 本書の位置づけ

本審査基準は、嬉野市が、民間のノウハウや資金等を活用した「嬉野温泉駅周辺整備事業」（以下「本事業」という。）を実施するに当たり、本事業を実施する民間事業者を選定するための手続き、方法及び審査の基準を示したものである。

2 審査の方法

(1) 事業者選定手順

募集要項に基づき事業応募者から提出された応募申込書及び提案書に対して、資格要件審査と事業提案審査を行う。



(2) 選定委員会

「嬉野市嬉野温泉駅周辺整備事業者選定委員会」(以下「選定委員会」という)は、事業提案審査のうち内容審査を行い、事業予定者及び次点者を選定し、その結果を市に報告する。

選定委員会の構成は下記のとおり。

	所属等
委員長	大学教授
副委員長	税理士
委員	商工関係団体職員
委員	市職員のうち部長職にあるもの
委員	市職員のうち部長職にあるもの

3 資格要件審査

事業応募者から提出された応募申込書については、募集要項に示された資格要件に従い、市が資格要件審査を行う。

4 事業提案審査

(1) 形式審査

市は、事業応募者から提出された提案書について、下記事項を満たしていることを確認し、ひとつでも満たさない場合は失格とする。

- ①提案書類として提出を求めた書類が全て揃っていること
- ②募集要項に示す提案内容に関する条件に違反のないこと
- ③提案が法令又は例規違反に該当し、修正・差替え等では回復不可能と認められるもの

(2) 内容審査

提案書の内容について、別表1に示す審査項目毎に、別表2に示す評価区分に従って得点を算出し、その合計したものを内容審査の点数とする。

5 事業者の決定

市は、選定委員会での審査結果を基に、事業予定者及び次点者を決定する。

別表1 審査項目

審査項目		評価の視点	配点		
事業計画	基本方針・コンセプト	「嬉野温泉駅周辺まちづくり委員会提言書」及び「嬉野温泉駅周辺景観ガイドライン」等の既往計画を踏まえ、嬉野市の新たな玄関口としての観光・交流拠点の形成に資する内容となっているか。	40	20	
		新幹線駅開業を見据え、事業予定地のニーズをとらえ、ターゲットやサービス内容・提供方法等に独自性がある内容となっているか。		10	
		事業期間における継続的な賑わいと魅力創出に向けた内容となっているか。		10	
	実施体制	法人またはグループにあつては代表法人、構成員の役割分担及び責任分担等が明確であり、本事業の遂行に十分な体制となっているか。	30	10	
		提案事業に関する同種・類似の実績があり、事業遂行能力があるか。		10	
		新幹線開業に合わせた、適切な工程が考慮された実現可能なスケジュールとなっているか。		10	
	収支計画	資金調達や返済計画に確実性があり、事業収支計画が適切で事業の健全性や安定性が確保でき、収益が見込める計画となっているか。	30	30	
	リスク対応	想定される事業リスクを適切にとらえた上で、リスク分担、対応策及び発生回避のための適切な方策が示されているか。	40	20	
		事業者の破綻等が生じた場合の対策が具体的に講じられているか。		20	
	小計			140	
施設計画	景観・デザイン・配置計画	周辺環境に調和し、嬉野の新たなスタートポイントとしてふさわしい景観・デザインとなっているか。	60	20	
		各施設及び機能の連携・相乗効果の発揮等を考慮し回遊性に優れた施設配置・機能配置となっているか。		10	
		市の文化や風土を感じさせ、周辺施設を考慮した連続性のある建物建築・構造となっているか。		10	
		公園・緑地は駅、周辺施設との連続性や一体性を持った魅力ある提案となっているか。		10	
		自然に恵まれた、親しみやすい温泉まちを象徴するような緑豊かな空間が提案されているか。		10	
	導入機能	飲食・物販・体験機能を有する施設の提案がなされているか。	50	20	
		地域連携機能の一つである、地域の特産品や工芸品等を取り扱う直売所の提案が示されているか。		20	
		嬉野のブランドイメージを高めることができる施設計画となっているか。		10	
	安全・安心への配慮	歩行者・車両等の安全性に十分配慮した動線及び駐車場計画となっているか。	30	10	
		防災・防犯等に配慮した計画となっているか。		10	
		ユニバーサルデザインの理念・考え方に基づいた提案となっているか。		10	
	小計			140	

管理運営計画・地域貢献	集客・情報発信	持続的な集客に関する効果的で具体的な提案がなされているか。	30	20
		提案期間において、継続的かつ魅力ある情報発信・PRに向けた工夫が示されているか。		10
	維持管理	来訪者が快適かつ安全に施設を利用できるような管理運営計画となっているか。	20	10
		耐用年数や工法、施設仕様を勘案し、適切な金額、周期での修繕計画となっているか。		10
	地域貢献	地元事業者の事業への参画や地域連携に対する取り組みが提案されているか。	40	20
		市及び周辺地域の農産品・工芸品の販売等による地域経済の活性化に関する具体的な提案がなされているか。		20
	独創性・その他	市にとって有利な事業期間（長期）となっているか。	30	10
		その他、独自性、創造性に優れ特筆すべき提案がなされているか。		20
	小計			120
	合計			400

別表2 評価区分

A	優れた提案である	配点×1.0
B	やや優れた提案である	配点×0.75
C	標準的な提案である	配点×0.5
D	やや劣った提案である	配点×0.25
E	評価できない提案である	配点×0